

東日本手外科研究会ニュース

Newsletter of Eastern Japan Society for Surgery of the Hand

令和7年10月5日号

October 5, 2025

●●●第40回東日本手外科研究会開催にあたって

このたび、第40回 東日本手外科研究会・40回記念大会を2026年2月11日(水・祝)に仙台国際センターにおいて開催させていただくことになりました。本会の開催にあたって関係者の皆様に深く感謝いたしますとともに、その重責と使命を深く感じております。例年の本研究会は土曜日の開催ですが、開業医の先生方や土曜日診療の先生方にも多く参加していただきたいという願いより、祝日の開催としております。

本研究会のテーマは『体験する手外科 ～知と体験の架け橋～』といたしました。本研究会は1987年に発足し、東日本地域の手外科診療・研究に大きく貢献してきました。その研究会が今回で40回を迎えます。その記念大会となる本研究会は、学会・研究会での知識を実際の臨床体験に直結させるということを主眼に置きました。明日から本当に役立つ研究会として、皆が集って大いに議論する大会にしたいと思います。主題は母指CM関節症、橈骨遠位端骨折、難治性ばね指としました。パネルディスカッションは手外科開業医のススメ、上肢重度四肢外傷と興味深いテーマとし、シンポジウムは歴代会長のライフワーク、体験する手外科・珠玉の症例編としています。それぞれ疑似体験して明日から臨床に役立てることができるようにと願いを込めました。また緊急シンポジウムとして我が国の義肢の現状と喫緊の課題について深く議論したいと思います。教育講演は整形外科漢方治療の第一人者である富澤英明先生、特別講演は仙台育英学園高校野球部監督の須江 航さんをお願いいたしました。どちらも非常に興味深いものになると思います。ランチョンセミナーやハンズオンセミナーも明日から役立つ手外科の智慧や技術になることでしょう。すべてのセッションが珠玉であり、会場でどこに参加するか迷うほどかもしれません。

宮城・仙台での研究会は第29回(2015年)以来2度目、形成外科での開催は3度目になります。東北大学形成外科学講座としては初の開催で、教室員一同、誠心誠意をもって開催に努めます。仙台は都心や各地からのアクセスもよく、観光やグルメに恵まれ、また映画や漫画、ドラマの舞台となった街でもあります。一人でも多くの皆様方にご参加いただき、冬の仙台で熱い議論を交わし、素晴らしいひと時となりますように、今から鋭意準備をさせていただきます。多くの皆様方のご参加をお待ちいたしております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

第40回東日本手外科研究会

会長 鳥谷部 荘八

国立病院機構 仙台医療センター形成外科
東北ハンドサージャリーセンター

●●●第41回東日本手外科研究会

このたび、第41回東日本手外科研究会を開催させていただくことになりました。日本大学医学部整形外科系整形外科学分野では、第4回を故 鳥山貞宜教授、第11回を故 佐藤勤也教授、そして第28回を私の恩師である長岡正宏教授が主催されており、今回で4回目の担当となります。また、私事にはなりますが、父の長尾悌夫（聖マリアンナ医科大学整形外科学講座）が第9回を主催させていただきました。身に余る光栄であると同時に、その重責に身の引き締まる思いです。

会期は2027年2月6日(土)、会場は2020年に竣工した複合施設「Hareza 池袋」内の「としま区民センター」を予定しています。池袋は新宿・渋谷と並ぶ東京三大副都心のひとつで、交通の便も良く、古典から現代に至るまで幅広い文化や芸術に触れられるとても魅力的な街です。なかでも日本大学医学部にゆかりの深い池袋で皆さまをお迎えできることを心からうれしく思っております。

今回のテーマは「紡ぐ」といたしました。ご参加いただく先生方が、発表や討論を通じてこれまで以上に新しいつながりや深いご縁を紡いでいただける場になるよう、日本大学整形外科上肢班一同、力を

合わせて準備を進めております。多くの先生方のご参加を池袋にて心よりお待ちしております。

第41回東日本手外科研究会

会長 長尾 聡哉

板橋区医師会病院整形外科/
日本大学医学部整形外科学系整形外科学分野

●●●第42回東日本手外科研究会

このたび、第42回東日本手外科研究会を開催させていただくことになり、大変光栄に存じます。本研究会は、第23回を石突正文先生が水戸で開催されて以来、東京科学大学（旧 東京医科歯科大学）整形外科としては2回目、19年ぶりの担当となります。会期は2028年2月26日の土曜日を候補日とし、会場は国の重要文化財にも指定されている歴史ある横浜市開港記念会館とする予定です。そんなクラシックな会場で、手外科を志す若い先生から、手外科を愛してやまないクラシック失礼、ベテランの先生まで、皆さまと白熱した討論ができるような研究会を準備していきたいと考えております。大きな震災が起きないことを祈りつつ、多くの皆さま方の参加をどうぞよろしくお願い申し上げます。

第42回東日本手外科研究会

会長 若林 良明

横浜市立みなと赤十字病院整形外科

●●●運営委員会から

以下に、令和7年2月21日に開催されました運営委員会の議事を中心に記載いたします。

1. **第38回東日本手外科研究会**：令和6年2月2日、第38回東日本手外科研究会が原 章会長（順天堂大学医学部附属浦安病院）の主催のもと、成功裏に無事終了いたしました。
2. **会員動向**：新入会員52名で、現会員数は666名となりました。
3. **会長・次期会長の承認**：会長に鳥谷部莊八先生（仙台医療センター形成外科・東北ハンドサージャリーセンター）、次期会長に長尾聡哉先生（板橋区医師会病院 整形外科/日本大学医学部整形外科学系整形外科学分野）が承認されました。また次々期会長に若林良明先生（横浜市立みなと赤十字病院整形外科）が選出されました。
4. **新顧問の承認**：新顧問として三上容司名誉会員が就任されました。
5. **新名誉会員の承認**：長田伝重委員、金 潤壽委員、千馬誠悦委員、松浦慎太郎委員、和田卓郎委員の5名が推薦され承認されました。
6. **ご逝去**：本会名誉会員、第19回研究会会長である、筑波大学整形外科前々教授の落合直之先生が令和7年2月25日にご逝去されました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。
7. **運営委員**：任期満了を迎えた24名の委員（池上博泰、岩崎倫政、射場浩介、岩部昌平、佐藤和毅、松田 健、岩瀬嘉志、佐竹寛史、鳥谷部莊八、上里涼子、大江隆史、長田龍介、長尾聡哉、上野幸夫、江尻莊一、佐藤光太、関口昌之、岩本卓土、大木 聡、久保和俊、小林由香、佐々木規博、西脇正夫、松井雄一 ※敬称略）の再任が承認されました。
新運営委員として、伊藤雄也先生（慶友整形外科病院）、牛尾茂子先生（共立蒲原総合病院）、織田 崇先生（北海道済生会小樽病院整形外科）、坂野裕昭先生（平塚共済病院整形外科・手の外科センター）、白幡毅士先生（秋田大学医学部付属病院整形外科）、高木信介先生（昭和大学病院形成外科）、中山健太郎先生（獨協医科大学整形外科）、前田和洋先生（東京慈恵会医科大学整形外科）、松浦佑介先生（千葉大学医学部整形外科）、森田晃造先生（埼玉メディカルセンター）の10名が選出されました。
8. **事務局移転**：2025年4月1日より株式会社ライトハンドに事務局が移転いたしました。
9. **会員管理について**：2025年10月1日より、クラウド型会員管理システムを導入いたしました。年会費納入、登録内容の変更はマイページへログインし、ご自身で管理いただけます。それぞれのログイン情報は個別メールでご案内済みです。ご不明な点は下記事務局までお問合せください。

●●●東日本手外科研究会事務局

〒466-0832 名古屋市昭和区駒方町4丁目43-3 株式会社ライトハンド内

E-mail info@ejhand.jp URL <http://www.jssh.or.jp/ejhand/>